



2020年3月期 中間決算説明会

東京エレクトロン デバイス株式会社

2019年10月31日

決算報告

取締役 佐伯 幸雄

2020年3月期 業績見込み

中期経営計画 VISION2020 および
将来の成長に向けた取り組み

代表取締役社長 徳重 敦之



決算報告

取締役 佐伯 幸雄

業績概要 前期比



(百万円)

	2019年3月期 中間	2020年3月期 中間	増減額	2020年3月期 中間 期初予想
売上高	68,765	65,213	3,551	68,000
売上原価	59,381	55,824	3,556	
売上総利益	9,383	9,389	5	
販管費	7,682	8,021	339	
営業利益	1,701	1,367	334	
営業外収益	69	90	20	
営業外費用	380	117	263	
経常利益	1,390	1,340	50	1,000
中間純利益	894	864	29	630
従業員数	1,202名	1,229名	27名	

中間純利益は親会社株主に帰属する中間純利益
東京エレクトロンデバイス

業績概要 売上高 増減



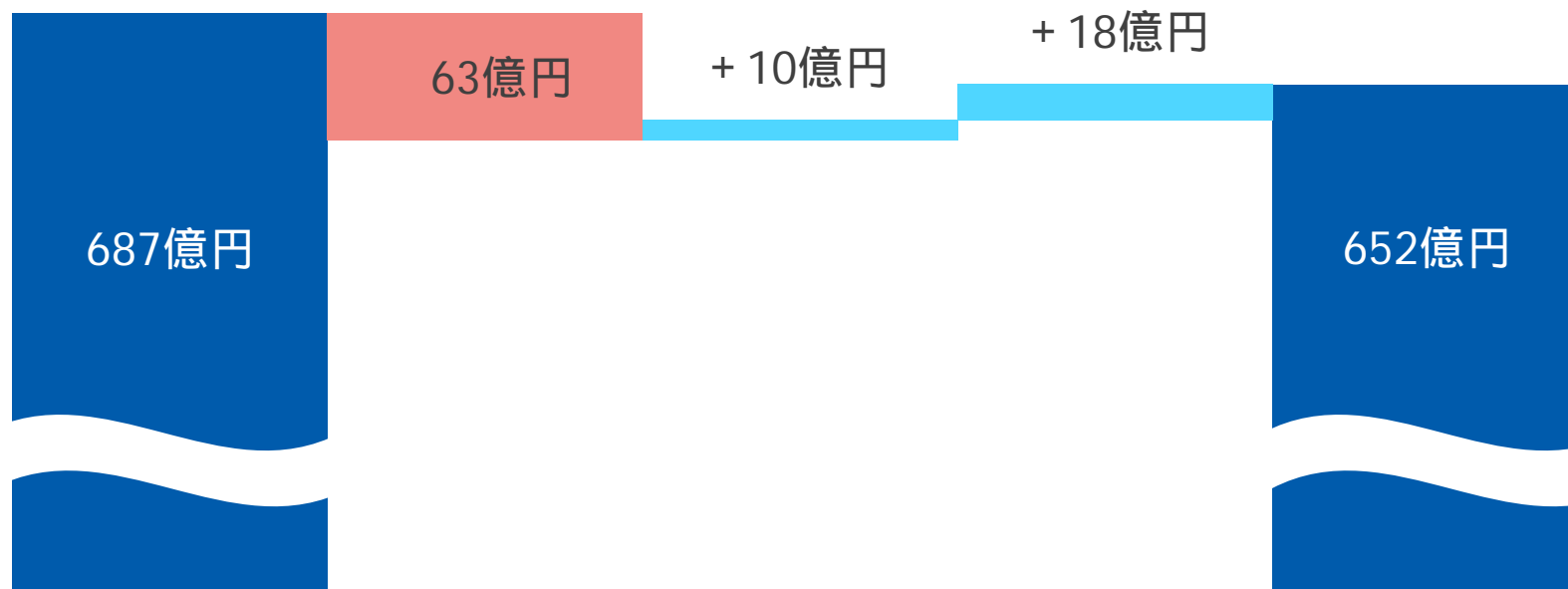
2019年3月期
中間売上高

EC事業
(ディストリビューション)

EC事業
(PB事業)

CN事業

2020年3月期
中間売上高



セグメント区分では、PB事業はEC事業に含まれております。
PB事業とは、プライベートブランド事業の略称であり、従来の呼称である自社ブランド事業を呼称変更しております。
PB事業には、東京エレクトロン デバイス長崎株式会社、株式会社ファーストを含んでおります。

セグメント別 売上高・利益

- EC事業 中国の景気減速の影響を受け車載以外は所要減
- CN事業 企業のIT投資が拡大し好調

(百万円)

	2019年3月期 中間		2020年3月期 中間			
	売上高	セグメント利益	売上高	増減額	セグメント利益	増減額
半導体及び電子デバイス (EC)事業	59,653	882	54,282	5,371	444	438
コンピュータシステム関連 (CN)事業	9,111	508	10,930	1,819	895	387
合計	68,765	1,390	65,213	3,551	1,340	50

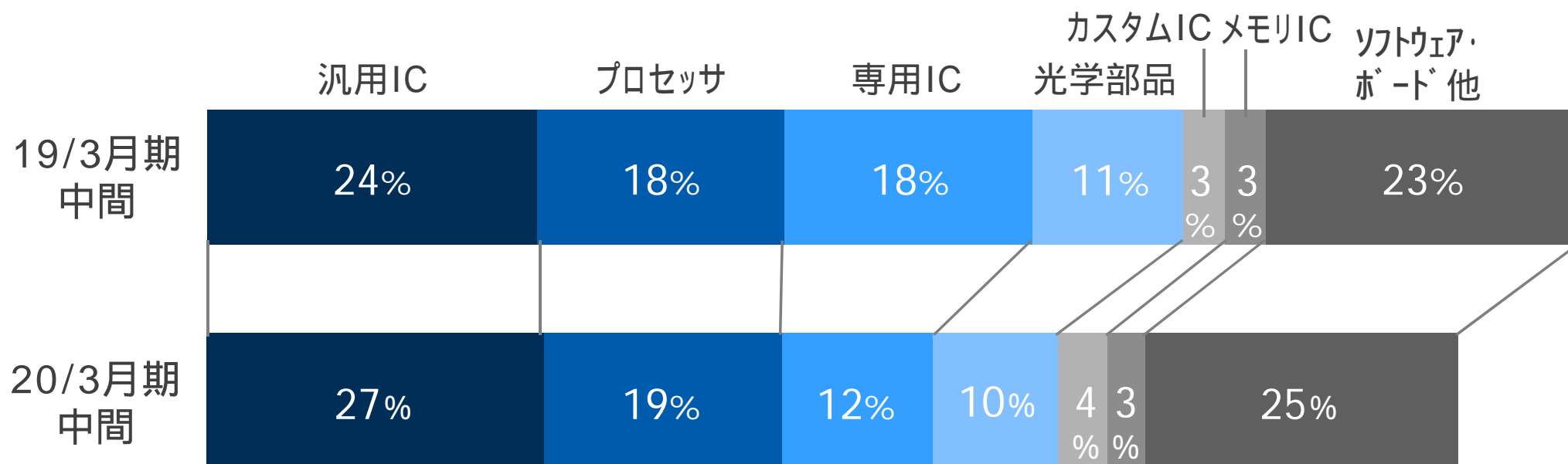
セグメント利益は経常利益
セグメント区分では、PB事業はEC事業に含まれております。

セグメント情報 EC事業



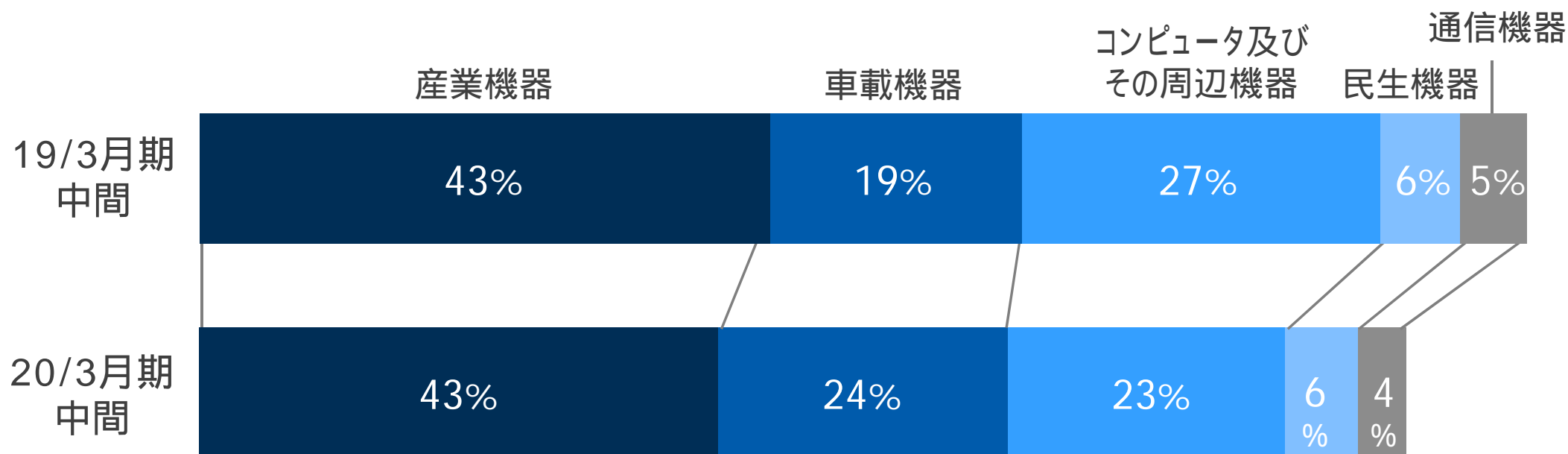
品目別売上高構成比

- PCやコンピュータ周辺機器、スマートフォン減少に伴い専用IC減少
- ソフトウェア・ボード他 増加 ファースト クラウドビジネスが寄与



用途別売上高構成比

- 車載機器 売上高構成比ともに増加



海外連結子会社 売上高 EC事業



- 米中貿易摩擦の影響を受け減収

	2019年3月期 中間	2020年3月期 中間	増減額	増減率
海外連結子会社 売上高(百万円)	18,560	14,406	4,154	22.4%
海外連結子会社 売上高比率	31.1%	26.5%		
海外連結子会社 売上高(M\$)	168	132	35	21.2%
為替レート(円)	110.26	108.60		

PB事業 売上高 EC事業

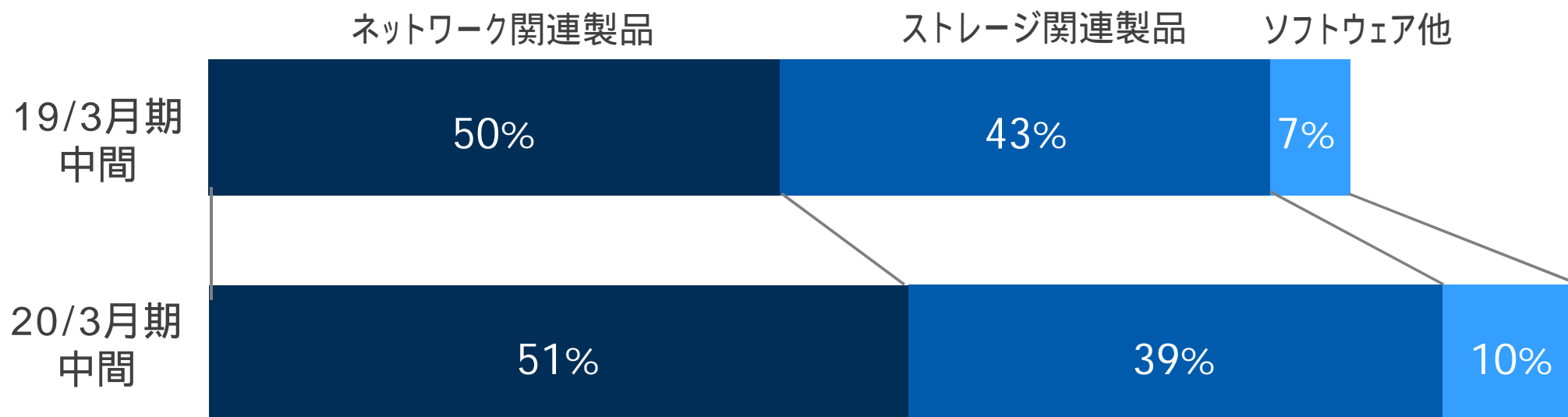
- インレビウム 新規顧客増加により堅調
- TED長崎 好調を維持
- ファースト 半年間寄与（前年は3ヶ月間）

(百万円)

	2019年3月期 中間	2020年3月期 中間	増減額	増減率
PB事業売上高	4,321	5,346	1,025	23.7%
売上高比率	7.2%	9.9%		

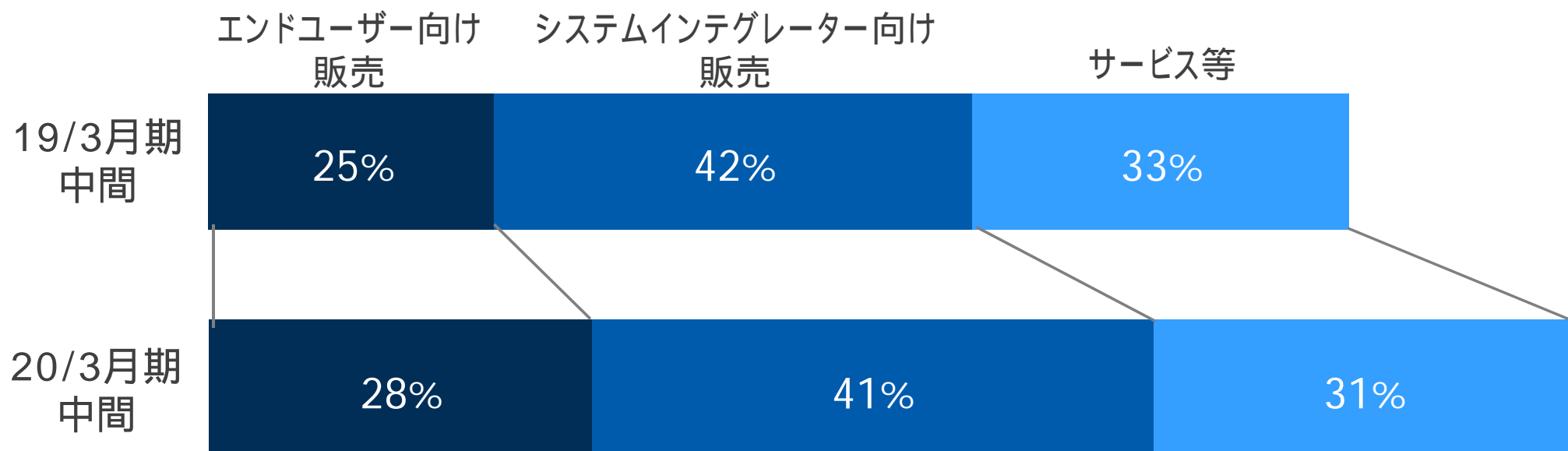
品目別売上高構成比

- ネットワーク関連製品が官公庁、製造業向けなどで増加
- 全分野で売上高増加



販売形態別売上高構成比

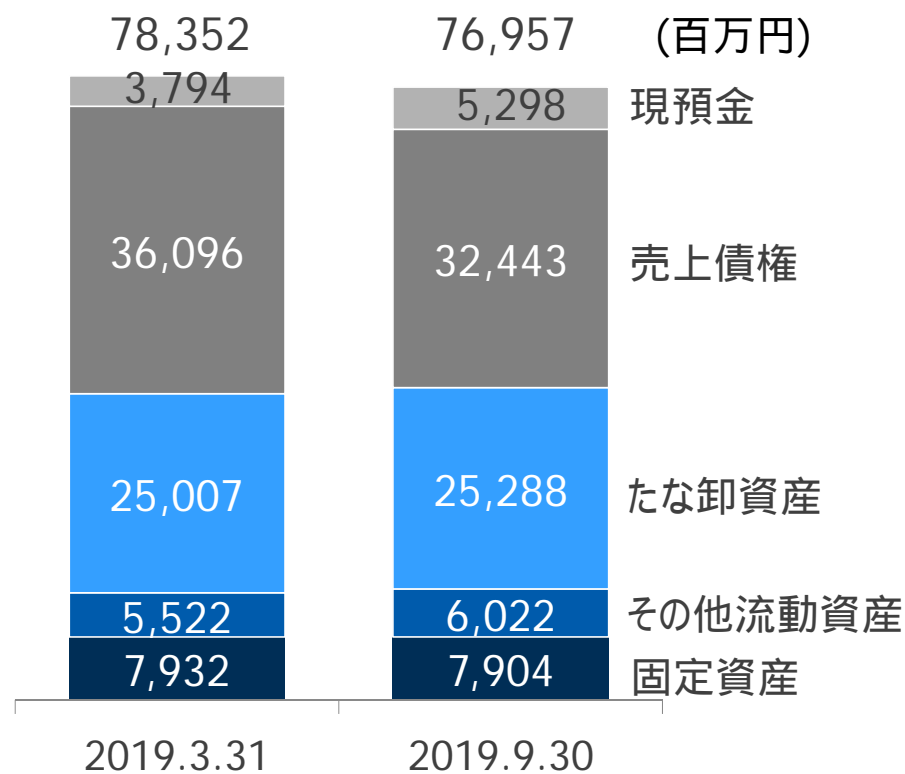
- 製造業、通信キャリアなどエンドユーザー向けでネットワーク、ストレージ関連製品が増加



貸借対照表

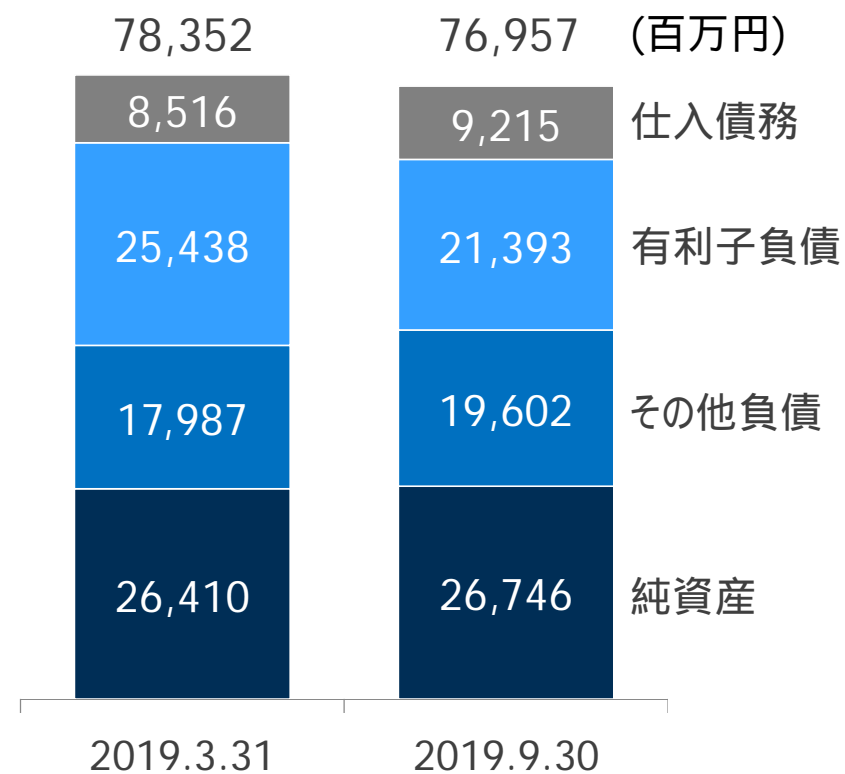
資産

- 売上高減少に伴い売上債権が減少



負債・純資産

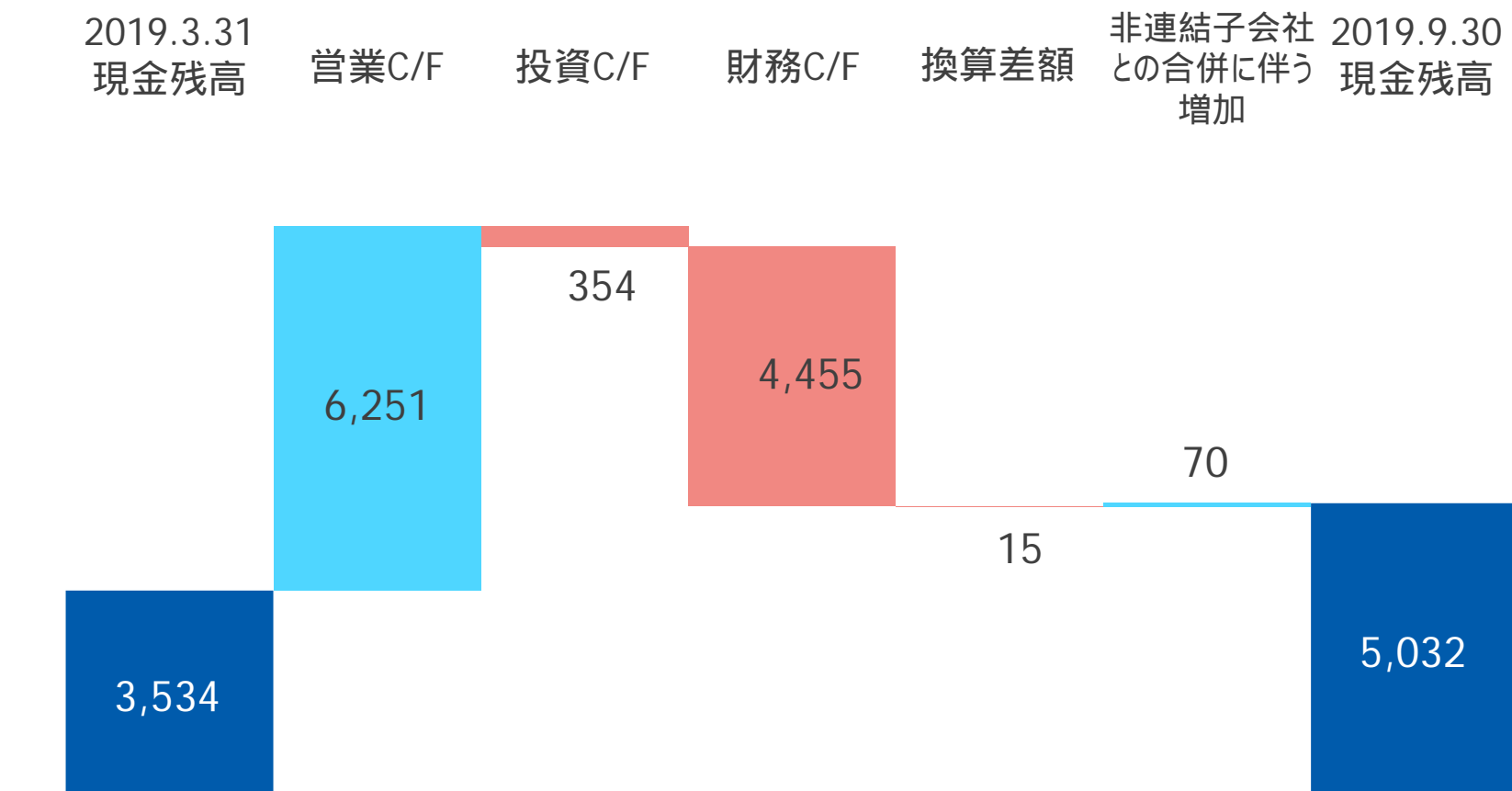
- 運転資金の減少により借入金を返済したため有利子負債が減少



キャッシュ・フロー計算書



(百万円)

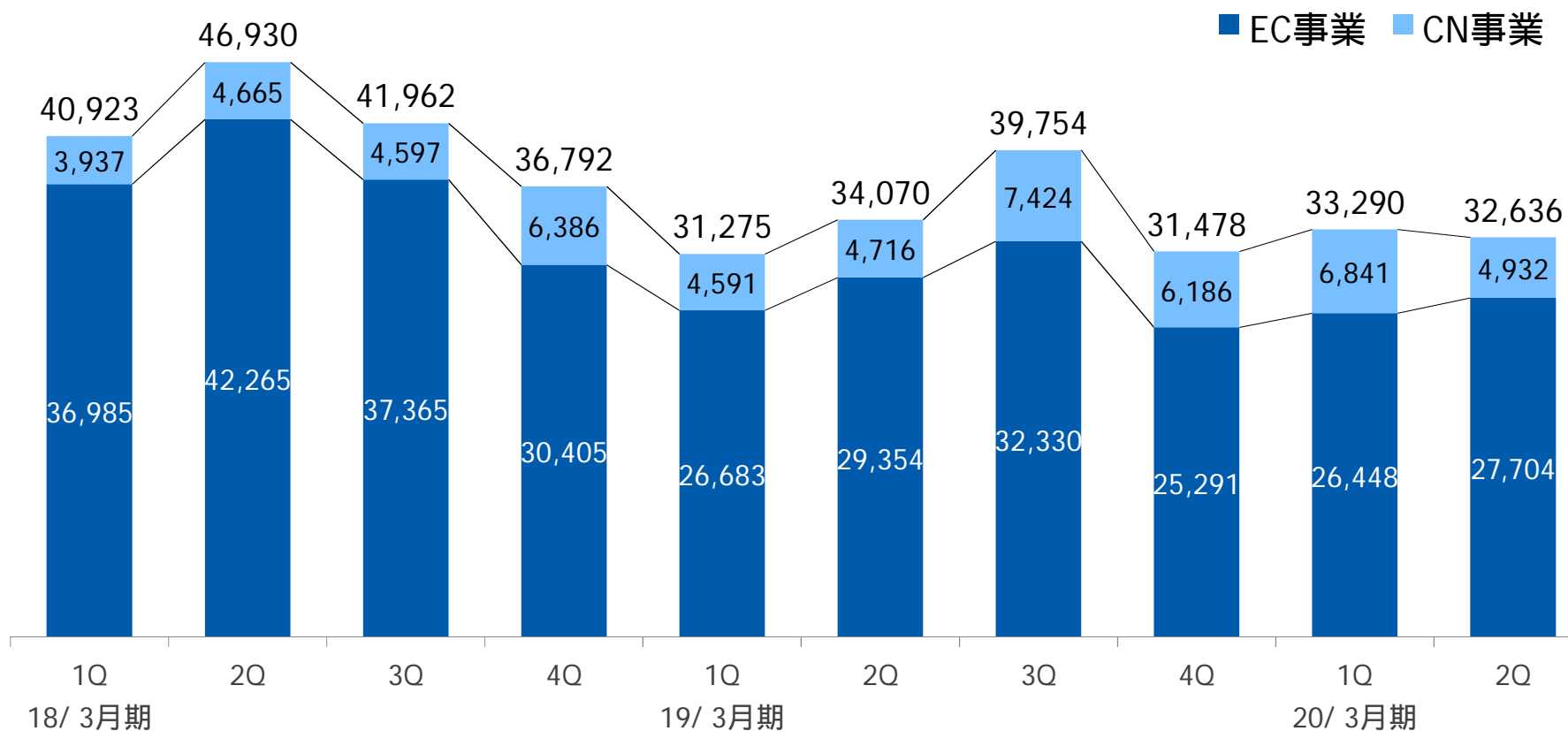


受注高の推移



- EC事業 2019年3月期4Qをボトムに底入れの兆し
- CN事業 企業のIT投資需要の拡大を背景に受注好調

(百万円)



18/3月期 2QよりTED長崎の受注高を含む
 19/3月期 2Qよりファーストの受注高を含む

2020年3月期 業績見込み

中期経営計画 VISION2020 および
将来の成長に向けた取り組み



代表取締役社長 徳重 敦之

2020年3月期 業績見込み

2020年3月期 下期業績予想の前提



EC事業

- 半導体市場は一部に回復の兆しあるが 今期中は足踏み状態
- 顧客移管（新規顧客の取り込み）は当初想定より遅れ 来期本格化
- 景気減速の影響受けるが 下期は底堅く推移

CN事業

- 企業・官公庁のIT投資は 生産性の向上を背景に堅調
- 製品販売、保守ビジネスともに好調
- 公共教育機関向けビジネスは伸長

2020年3月期 業績予想修正



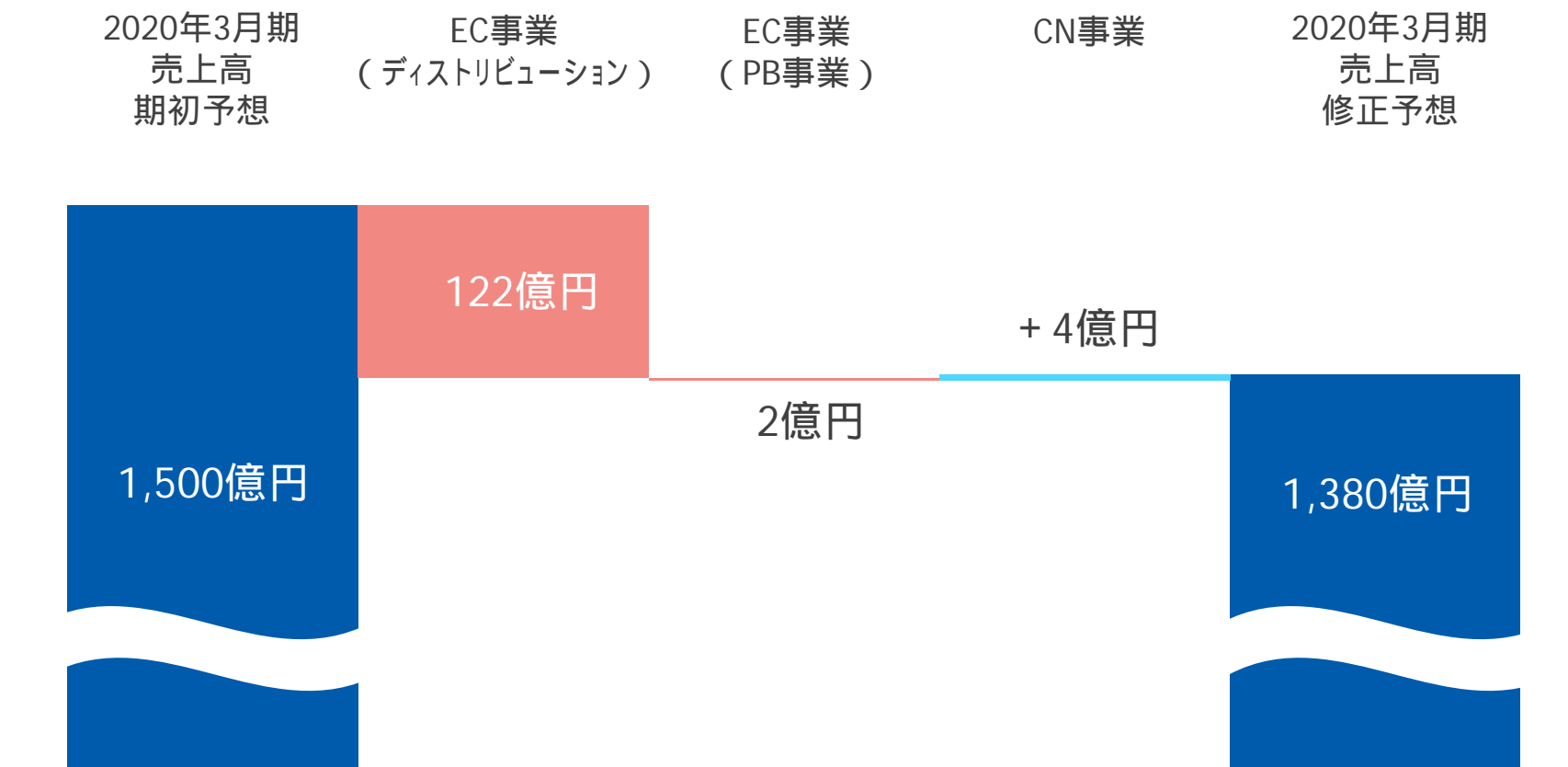
- 売上高は期初予想から修正
- 経常利益、当期純利益は 据え置き

(百万円)

	2020年3月期 期初予想			2020年3月期 10月30日修正予想			通期予想 対期初予想	
	上期予想	下期予想	通期予想	上期実績	下期予想	通期予想	増減額	増減率
売上高	68,000	82,000	150,000	65,213	72,786	138,000	12,000	8.0%
経常利益	1,000	2,500	3,500	1,340	2,159	3,500	0	0%
当期純利益	630	1,570	2,200	864	1,335	2,200	0	0%

当期純利益は親会社株主に帰属する当期純利益

業績見込み 売上高増減



2020年3月期 業績予想



(百万円)

	2019年3月期	2020年3月期			対前年比	
	通期	上期実績	下期予想	通期予想	増減額	増減率
売上高	141,000	65,213	72,786	138,000	3,000	2.1%
EC事業	119,660	54,282	59,217	113,500	6,160	5.1%
CN事業	21,340	10,930	13,569	24,500	3,159	14.8%
経常利益 (利益率)	3,077 (2.2%)	1,340	2,159	3,500 (2.5%)	422	13.7%
当期純利益 (利益率)	2,341 (1.7%)	864	1,335	2,200 (1.6%)	141	6.0%

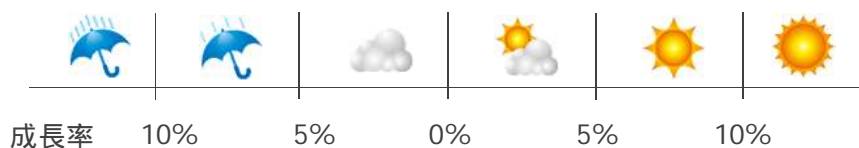
当期純利益は親会社株主に帰属する当期純利益

2020年3月期 事業環境と施策 EC事業



当社事業環境

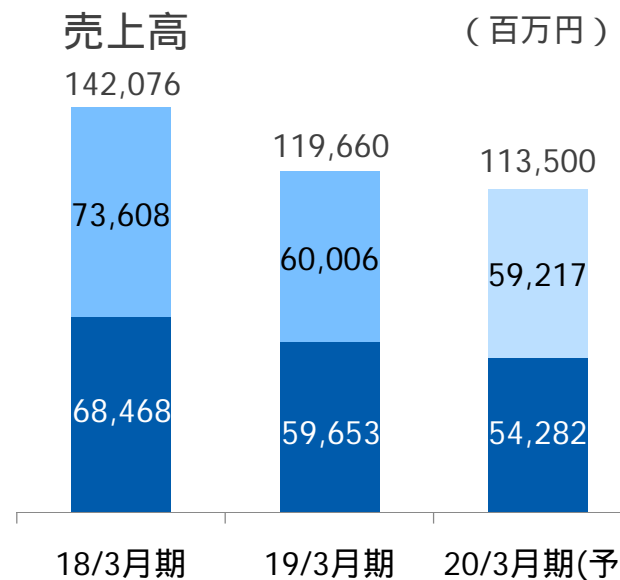
用途	2020年3月期下期
全般	
FA・ロボット	
半導体製造装置	
車載機器	
通信機器	
PC周辺機器	



当社事業環境は、上期と比較した当社のビジネス環境

下期施策

- 顧客移管に向けた体制強化
- 効率的なオペレーションの継続
- 在庫の適正化



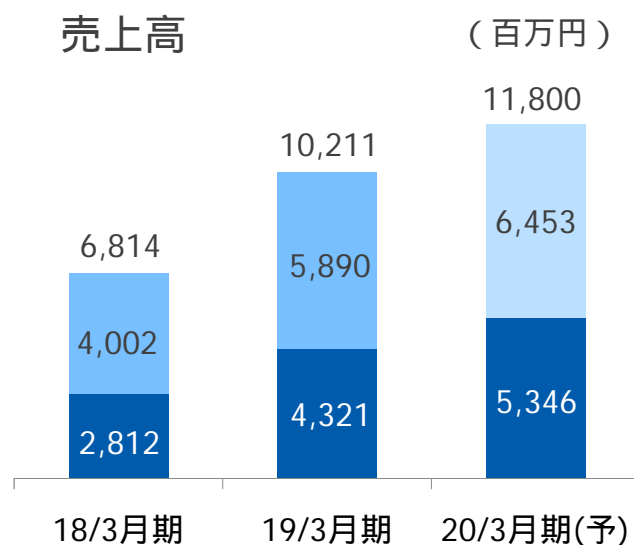
2020年3月期 事業環境と施策 PB事業（EC事業）



下期施策

- インレビラム（TED）

設計・量産受託サービスの拡大
自社ブランド製品の開発・販売



- TED長崎

TED 量産受託サービス案件の製造体制の強化
自社製品の販売促進

クラウド対応電話通報デバイス
「トリガフォン/TP2000」
2019年9月発売



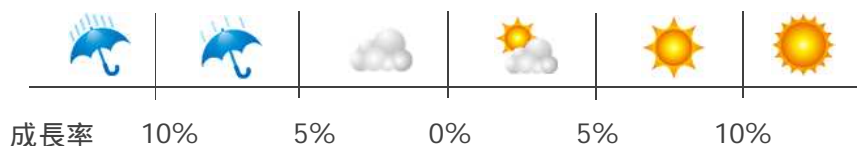
- ファースト

TEDとの新製品共同開発
画像システムの受注拡大
自社製品、新製品へ注力

2020年3月期 事業環境と施策 CN事業

当社事業環境

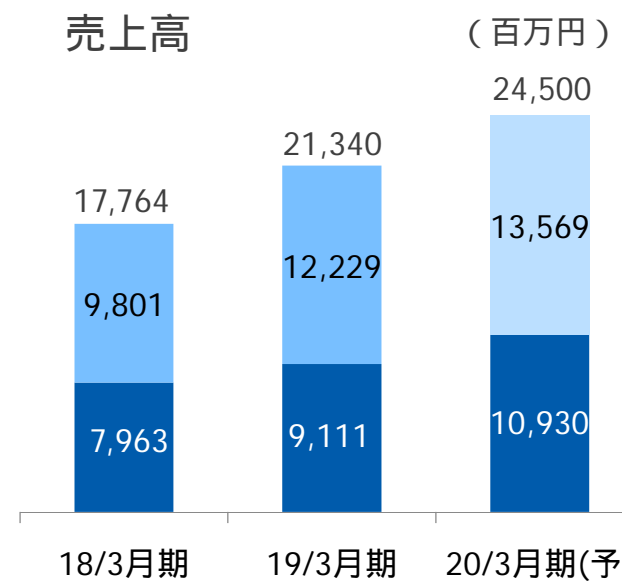
品目	2020年3月期下期
全般	
ネットワーク	
ストレージ	
セキュリティ	
ソフトウェア	



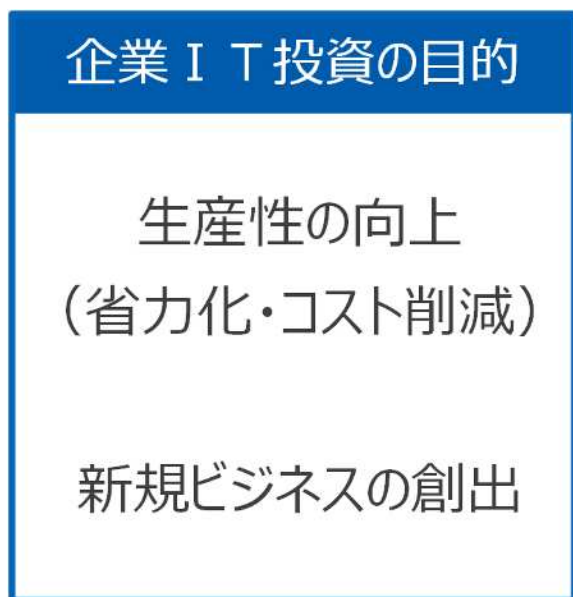
当社事業環境は、上期と比較した当社のビジネス環境

下期施策

- エンドユーザー向け 主力製品販売の強化
- 新規顧客の開拓
- サービスビジネスの受注拡大



2020年3月期 事業環境と施策 CN事業



- 働き方改革
ソリューション
- 仮想化基盤・
VDIソリューション
- データ活用基盤
ソリューション
- データセンター
ソリューション

ARISTA



PURESTORAGE

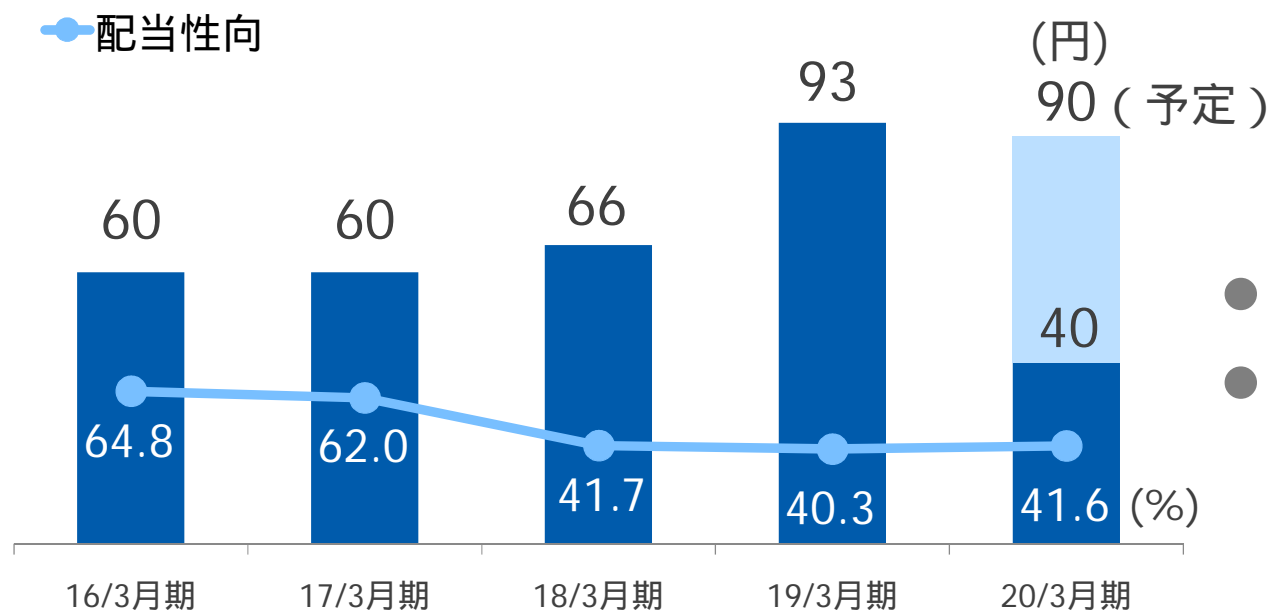
NUTANIX™



Security

1株当たり配当金

	2019年3月期	2020年3月期
中間	40円	40円
期末	53円	(予定) 50円



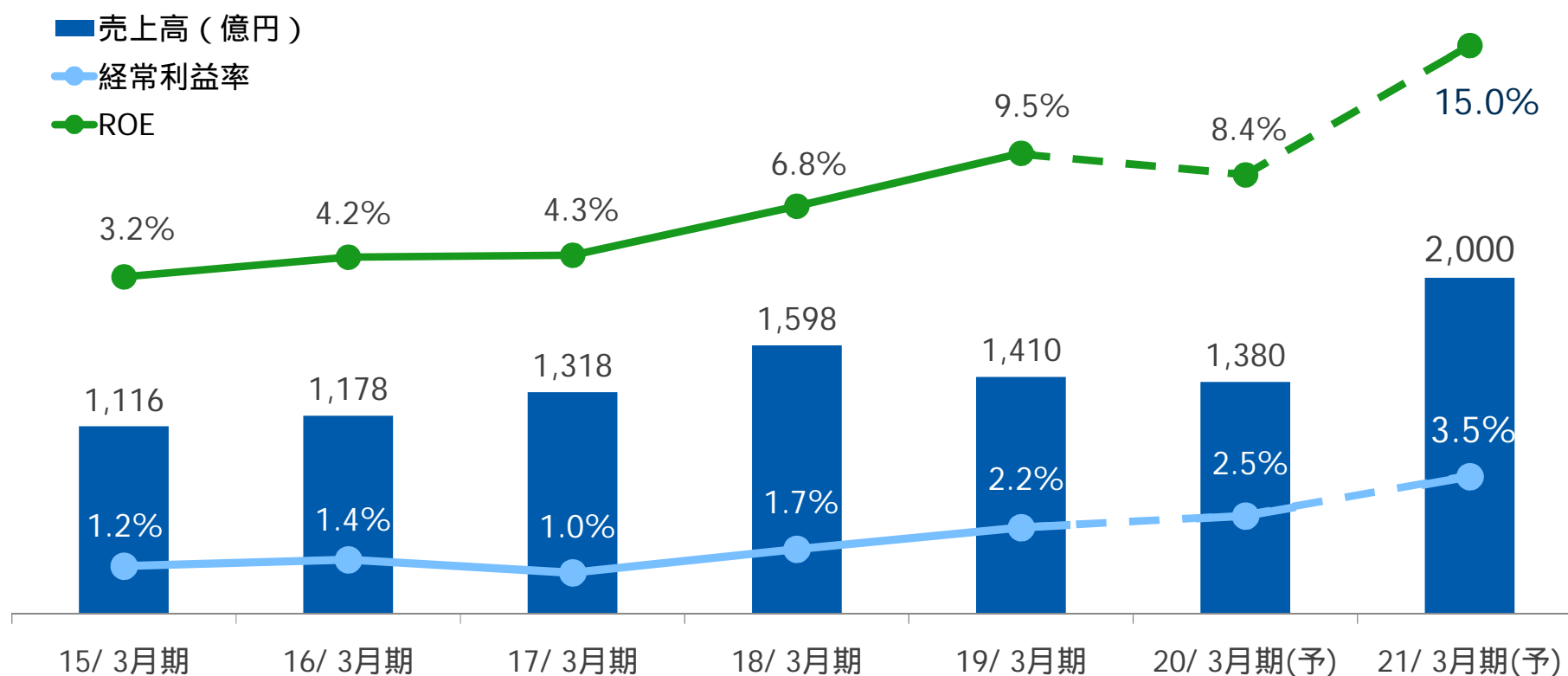
- 連結配当性向 40%を目安
- 安定的・継続的な配当の実施

中期経営計画 VISION2020 および 将来の成長に向けた取り組み

中期経営計画 VISION2020



2021年3月期 売上高 2,000億円 経常利益率 3.5%以上 ROE 15.0% を目指す



将来の成長に向けた取り組み



システム一括受託開発の推進

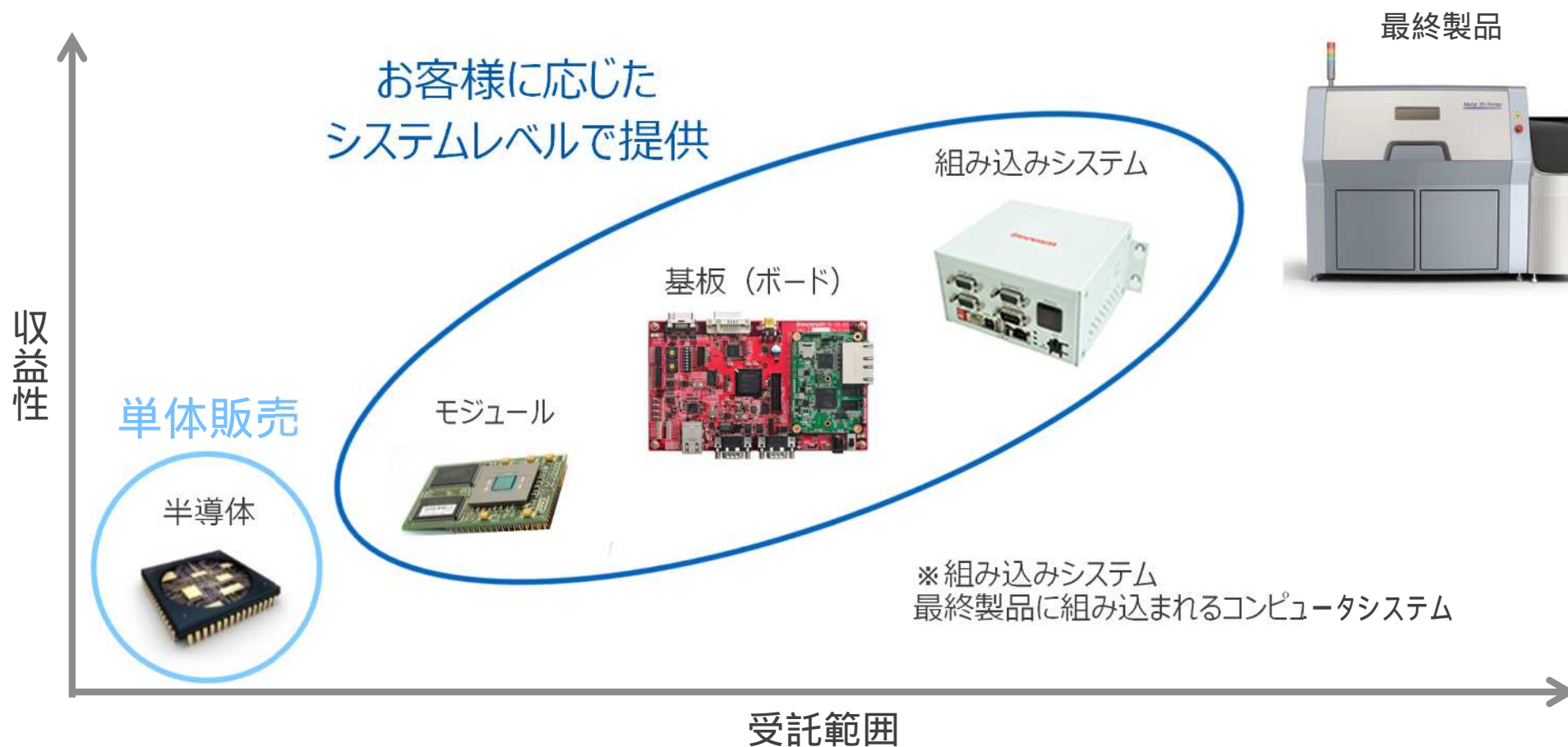
保有技術を活用した自社製品開発の強化

新製品の導入・技術サービス体制の確立

産業分野のIoTビジネス加速化

システム一括受託開発の推進

半導体単体から顧客仕様システムまで幅広い提供形態に対応



保有技術を活用した自社製品開発の強化



AI外観検査プラットフォーム T A i V I S



- 目視検査を自動化
- A I により外観検査の精度を向上
- 製造ラインの自動化・省人化・効率化に貢献

「TAiVIS」：TED Ai Visual Inspection System
2019年6月発売



デモシステムイメージ

保有技術を活用した自社製品開発の強化

3Dビジョンロボットシステム TriMath



2019年10月発売

ロボット

画像処理技術

システム構築

周辺機器

ロボットシステムで
提供

用途

- 重量物のピッキング
- ばら積みの荷物の
積み下ろし など

新製品の導入・技術サービス体制の確立



目的に即したセキュリティ製品を提案

働き方改革ソリューション
テレワーク向けセキュリティ

クラウド
×
モバイルPC

クラウドセキュリティ エンドポイントセキュリティ

netskope SentinelOne™

導入事例

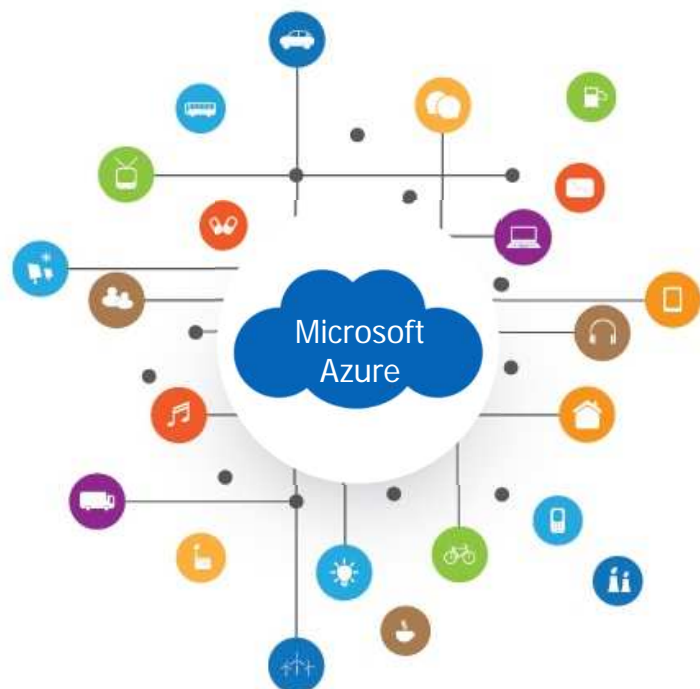
株式会社エヌ・ティ・ティ・データ

技術革新統括本部 システム技術本部 社内システム

- 顧客とのコラボレーション、働き方改革に向けクラウドサービスを導入
- ネットスコープ社製品の導入により、クラウドサービス利用時のセキュリティを担保
- 2019年6月時点で2,000ユーザーが利用

産業分野のIoTビジネス加速化

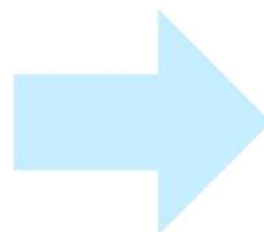
Microsoft Azure（クラウドサービス）を
核とした顧客基盤の拡大



Microsoft
Azure顧客
402社

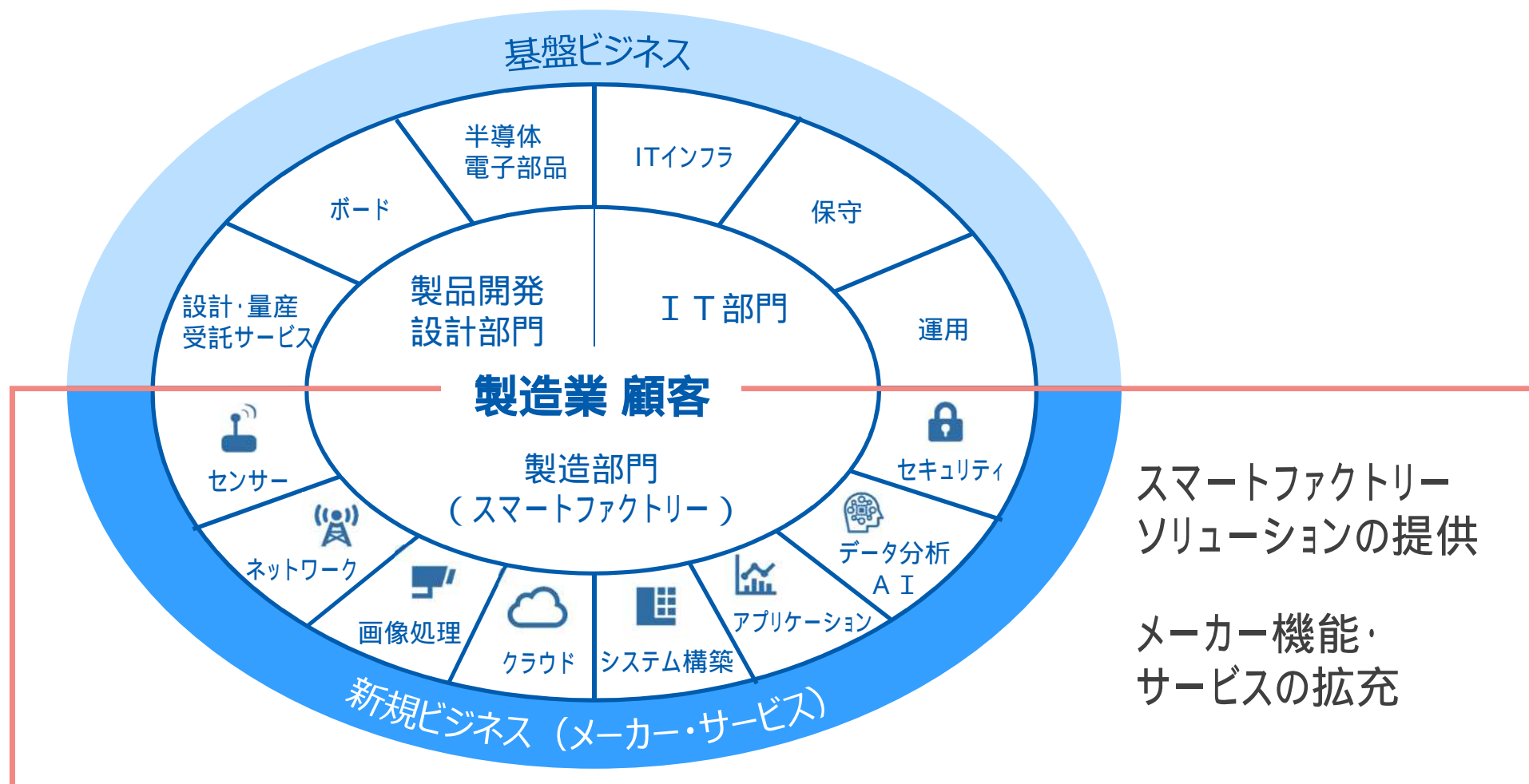
エコシステム
パートナー
140社

※エコシステムパートナー
Microsoft Azure クラウドサービスに
各社のIoT関連技術やサービスを組み合わせて提供



目指す将来像

DRIVING DIGITAL TRANSFORMATION



Connect Beyond

本資料に関する注意事項

本資料で述べられている将来に関する見通しは、現時点で知りうる情報をもとに構築されたものです。当社の業績に直接的・間接的に影響を与える様々な要因により、今後の業績見通しが本資料と異なる可能性があることをあらかじめご了承ください。

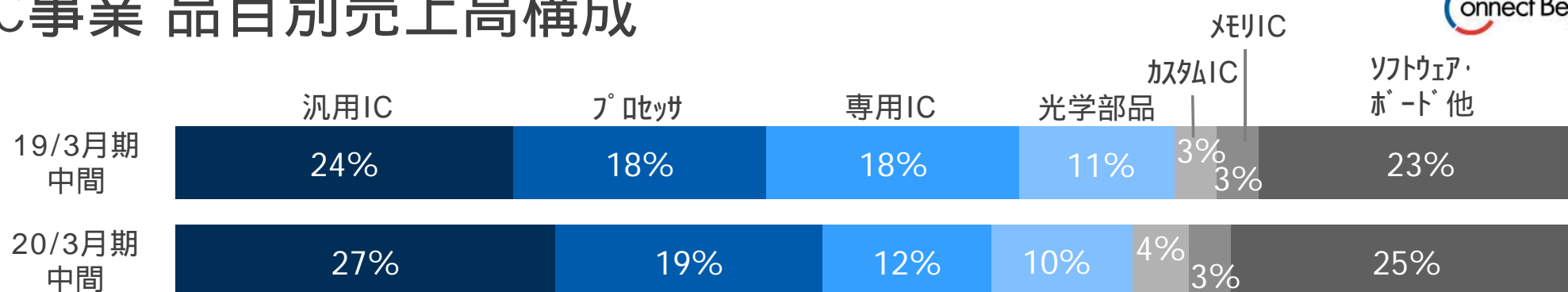
また、大きな変更がある場合は、その都度発表していく所存です。

本資料に掲載された会社名、製品名、サービス名ならびにロゴは、各社の商標または登録商標です。



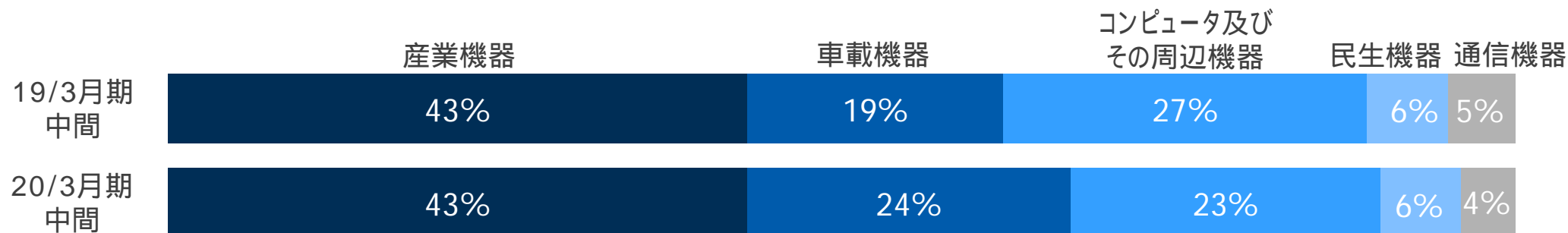
補足資料

EC事業 品目別売上高構成



品目	増減率	主な要因	主な仕入れ先
汎用IC	1.0%	産業機器減少 車載増加	TI / NXP
プロセッサ	2.5%	車載増加 POS端末減少	NXP/ インテル / TI / サイプレス(スパンション含む)
専用IC	38.2%	PCおよびコンピュータ周辺機器、スマートフォン減少	TI / ブロードコム / ヒクセルワークス / サイプレス / インビーム
光学部品	16.4%	産業機器減少	ブロードコム
カスタムIC	2.3%	基地局増加	ソシネクスト / ラティス / インビーム
メモリIC	9.7%	産業機器減少	サイプレス(スパンション含む)
ソフトウェア・ボード他	0.5%	ファーストクラウドビジネスが寄与し増加	マイクロソフト / インテル / コーセル / インビーム

EC事業 用途別売上高構成



用途	増減率	主なアプリケーション	当社の傾向
産業機器	8.8%	医療機器 放送機器 監視カメラ FA機器 計測器 工業用ロボット 工作機械 半導体製造装置 インバータ	景気減速に伴い汎用IC、光学部品、メモリIC減少
車載機器	15.0%	カーナビゲーション カーオーディオ ボディ系	商権拡大に伴い汎用IC、プリント寄与
コンピュータ及びその周辺機器	23.1%	複合プリンタ プロジェクタ OA機器 ストレージ サーバ PC及び付属機器 POS	PC、ストレージ 減少に伴い専用IC減少 POS端末減少に伴いプリント寄与減少 クラウドビジネス伸長に伴いソフトウェア増加
民生機器	16.8%	デジタルカメラ デジタルビデオカメラ TV DVD AV機器 家庭用ゲーム リモコン 白物家電	全般的に減少傾向
通信機器	17.1%	携帯電話 スマートフォン ルータ 伝送装置 基地局	スマートフォン専用IC減少

CN事業 品目別売上高構成



品目	増減率	主な要因	主な仕入れ先
ネットワーク 関連製品	22.4%	官公庁、サービス業、製造業向けなど機器販売、保守ともに増加	アリストネットワークス エクストリームネットワークス F5ネットワークス社
ストレージ 関連製品	8.4%	製造業、通信キャリア向けなど フラッシュストレージ製品の機器販売、保守ともに増加	ブロードコム DELL EMC (アイシロンデータメイン) ピュアストレージ
ソフトウェア他	77.3%	官公庁、研究機関向けなど仮想化基盤プラットフォーム増加	ニュータニックス

品目



	品目	主な製品	機能
EC事業	汎用IC	アナログIC ロジックIC	色々な用途に共通に使用されるIC
	プロセッサ	CPU DSP	電子機器の頭脳 演算機能・制御機能
	専用IC	画像処理用IC 通信・ネットワーク用IC	特定用途向けに作られた専用IC
	光学部品	LED フォトカプラ	電気を光に変換して使用する電子部品
	カスタムIC	ASIC PLD	お客様の仕様に応じて作られる固有IC
	メモリIC	SRAM FRAM MRAM フラッシュメモリ	記憶用IC 書込み読出しが可能なものや 読出しのみのものがある
	ソフトウェア・ボード 他	ソフトウェア ボード 電源 コネクタ	企業向け産業機器に組み込まれるソフトウェア プリント配線基板上にIC 電源 コネクタなどの部品を 実装した製品（ボード）
CN事業	ネットワーク関連製品	ネットワーク負荷分散装置 セキュリティ関連機器	インターネットの接続負荷の分散、 ネットワーク上のセキュリティを強化
	ストレージ関連製品	SANスイッチ フラッシュストレージ	大容量データに高速に接続、記憶する
	ソフトウェア他	仮想化基盤プラットフォーム	データベース管理、クラウド環境の管理